

# 南信州広域連合議会 全員協議会

平成29年11月27日

南信州広域連合事務局

## 南信州広域連合議会 全員協議会

日 時	平成29年11月27日（月）	午前11時05分～午前11時38分
場 所	飯田広域消防本部 3階会議室	
出席者	熊谷（英）議員、下平議員、川野議員、小池議員、下岡議員、丸本議員、板倉議員、松村議員、村松（積）議員、原議員、川上議員、高坂議員、熊谷（義）議員、勝野議員、市川議員、大島議員、宮下議員、坂本議員、熊谷（宗）議員、森谷議員、熊谷（泰）議員、湯澤議員、永井議員、福沢議員、木下（容）議員、湊議員、新井議員、清水議員、吉川議員、木下（克）議員、村松（ま）議員、議員、井坪議員	
説明員	9市町村長、藤城根羽副村長、伊東壳木副村長、小林天龍副村長、菅沼豊丘副村長、佐藤副管理者、加藤監査委員、市瀬監査委員、市瀬監査委員事務局長、清水会計管理者、高田事務局長、塚平事務局次長、関島消防長、松川消防次長兼警防課長、有賀総務課長、山口予防課長、木下警防課専門幹、細田飯田消防署長、大藏伊賀良消防署長、高橋高森消防署長、下平阿南消防署長、田見飯田環境センター事務長	
事務局	加藤書記長、林事務局庶務係、秦野事務局次長補佐兼広域振興係長、秋山事務局介護保険係長、北原飯田環境センター事務長補佐兼庶務係長兼新焼却場施設整備専門主査、市瀬業務係長、原稲葉クリーンセンター管理担当専門技、下平消防本部総務課庶務係長、牛久保下伊那郡町村会事務局長	

1. 開 会
2. 議長あいさつ
3. 広域連合長あいさつ
4. 報告・協議事項

No	項 目 名	資料	頁
1	リニア中央新幹線について …資料による説明（高田事務局長）	1	3
2	産業振興と人材育成の拠点整備事業について …資料による説明（高田事務局長）	2	7

No	項 目 名	資料	頁
3	稲葉クリーンセンター整備事業について …資料による説明（田見飯田環境センター事務長）	3	9
4	災害対応型自動販売機での飲料の提供に関する合意書締結について …資料による説明（塚平事務局次長）	4	12
5	南信運転免許センターの設置に向けた要望活動の実施について …資料による説明（高田事務局長）	5	13
6	広域消防から …資料による説明（関島消防長）		14

## 5. 閉 会

## 1. 開 会

午前 11 時 05 分

## 2. 議長あいさつ

## 3. 広域連合長あいさつ

(清水議長) それでは、ただいまから全員協議会を開催いたします。

本会議に引き続いてでありますので、議長あいさつを省略させていただきます。

広域連合長のあいさつも省略いたします。

## 4. 報告・協議事項

(清水議長) 次に、4 番の報告・協議事項に入ります。

### (1) リニア中央新幹線について

(清水議長) はじめに、「リニア中央新幹線について」を議題といたします。理事者側の説明を求めます。

高田事務局長。

(高田事務局長) それでは、資料ナンバー 1 をご覧をいただきたいと思います。

リニア中央新幹線に関しまして、11月13日の日に開催をされました「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」の概要につきましてご報告をさせていただきます。

資料 1 ページでございますが、その日の次第でございます、報告事項 2 件、協議事項 2 件という内容でございます。後ほど説明をさせていただきます。

おめくりをいただきまして出席者の名簿であります、阿部長野県知事は知事室からウェブ出席ということでございます。それ以外の委員の皆様すべてご出席でございました。

当地域からは飯田市長という立場で牧野連合長、それから広域連合の代表として松島副連合長、それから今回、豊丘の下平村長さんが広域連合で取り組んでおります事業の説明者ということで出席をいただいております。

それでは報告事項から説明をさせていただきますが、報告事項の 1 番で「リニアに関する国等の動き」ということで、資料の 4 ページをご覧をいただきたいと思っております。

国におきまして、近ごろ 2 つの会議体ができているということで、「スーパー・メガリジョン構想検討会」、国土交通省のほうで 29 年 9 月に立ち上がっております。それか

ら、「リニア・モビリティ革命と都市・地域フォーラム」ということで、民間の団体が主体となりまして29年の10月に立ち上がっております。それぞれ協議が始まっているということで、長野県と飯田市がオブザーバー等で出席をいたしているということでございます。

続きまして、報告事項の2件目でございます。「リニア駅周辺整備デザイン会議」の状況につきまして飯田市のほうから説明がございました。資料でいきますと5ページとそれから6ページでございます。よろしくお願いをいたします。

続きまして7ページからが協議事項の資料でございます。

協議事項の1点目は、リニア駅と伊那谷各地との移動の考え方の整理ということでございまして、この資料でいきますと8ページとそれから折り込んでありますその1枚後に関連資料が付いております。

A3の折り込み資料が付いておりますけれど、8ページの上段でリニアと伊那谷各地との移動の考え方ということで、関連資料の1のほうは来訪者視点ということ、それから関連資料の2のほうが居住者の視点ということで、それぞれの視点からこの地域内のリニア駅と各地をどうつなぐか、それらについての協議・検討の資料が示されたということでございます。

で、資料の9ページ上段にありますように、リニア駅とつなぐ交通結節点の拠点性を向上させて、リニア駅と伊那谷各地との移動のあり方を検討していこうということが示されております。検討のスケジュールは9ページの下段でございます。

それから資料の12ページ、13ページでございますが、そのこれからの二次交通等の考え方につきまして、まず県では12ページに基づいて地域振興局でアクセスに関する調査を進めるということ。それから13ページにつきましては、これは伊那市のほうで実証実験が始まるということで、新たな移動手段としての、あるいは人を運ぶ、物を運ぶシステムの実用化に向けた実証実験ということでドローンですとか、それから自動運転サービスについて伊那市のほうで実証実験が始まるというふうな資料でございます。またご覧いただければというふうに思います。

続きまして資料の14ページ、15ページでございますけれども、飯田市のほうから最初の定例会の冒頭の連合長あいさつにもございましたけれども、JR飯田線乗換新駅の検討につきまして飯田市のほうから報告がされたものでございます。

14ページが乗換新駅につきましての概要を整理したペーパーで、その裏面に位置図が示されております。リニアの駅から見ますと北の方向、飯田線とそれから土曾川の交

差する部分が計画箇所ということで上げられておりますが、そこに乗換新駅を想定をして地元の説明があって、それ以降、伊那谷自治体会議に示されたものでございます。

それから、その次の16ページでございますが、これが伊那谷自治体会議のほうで乗換新駅の設置に向けてどのように検討が進んでいくかということの整理がされたペーパーでございます。中ほど、29年の11月、伊那谷自治体に飯田市から検討経過及び内容が報告がされたということでございまして、そこに書いてありますように「JR東海に対して正式に協議を求めていくことを自治体会議として確認」ということで、これが実際にこの場で確認をされた事項でございます。

で、今後、JR東海に申し入れをした後、平成30年度以降、そこにありますように検討が進められていくということでございます。

以上が協議事項の1番でございまして、協議事項の2番が17ページから以降でございます。伊那谷と都市圏との対流促進に向けた取り組みということで、今回は事例の紹介という事例発表が主なものでございました。

17ページのこの資料の8と書いてあるところは、これは駒ヶ根市から伊那谷自治体会議に報告があったものでございまして、駒ヶ根市のほうで青年海外協力協会というJOCAという財団の本部が駒ヶ根市へ移ってくるということでございまして、そこと連携をした駒ヶ根市の取り組みが報告をされたということでございます。

それから、その次の18ページでございますが、これが豊丘の村長さんにご出席をいただいておりますので説明をいただいたものでございます。広域連合が昨年度から取り組んでおりますマーケティングの事業の中で、特に一村一企業ダーチャ運動ということで、本年、豊丘村長さんにはロシアへ視察にも行っていただいておりますが、それを含めてこの地域の市町村と都市部の企業とが連携をして地域づくり、あるいはそれぞれの課題に取り組んでいくという、そういう事業を始めたというところの報告をされたところでございます。

最後に資料の19ページでありますけれど、これも首都圏についての調査事業でございまして、長野県の東京事務所あるいは名古屋事務所のほうの担当の方が、それぞれの地の企業から聞き取りをしたということの概要が整理をされておりますけれども、一番下のほうにございますけれども、「なかなか自然環境ということは出てくるけれども、それ以外ではなかなかリニアについての情報も行き渡っていないということが課題ではないか」というようなことが整理をされております。

で、このような資料の中から最後に知事のほうからのまとめの中では、「広域的な環境

や…（聞き取れず）…的な取り組みの中ではやっぱりDMOのことも必要になるということでした。しっかりと検討したい」ということ。

それから提案がございまして、「伊那谷の売り込みマップというようなものをつくったらどうか」というようなことで取り組んでいったらどうかというようなことが知事のほうから提案があったところでございます。

以上、報告とさせていただきます。よろしくお願いたします。

（清水議長） 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

大島正光君。

（大島議員） 17番、大島正光でございます。高森町でございます。

ちょっと1つお聞きしたいと思うんですが、14ページ、15ページに乗換新駅の関係でございますが、先日も新聞にこの報道が載っております、5～6億掛かるんではないかと。

これ請願駅ということで「つくるんだ」ということで新聞にも載っておりますが、そうすると地元負担が生じるわけでございますが、地元負担ということになると地元というのはどこのことを言うのか、上伊那のほうからが設置要望が強いようでございますが、下伊那だけなのか、上伊那のほうからも負担はしていただけるのか、そこら辺はここまで協議が進んでおるのかお聞きしたいと思います。

（清水議長） 牧野広域連合長。

（牧野広域連合長） ただいまの大島議員からのご質問に私のほうから回答させていただきます。

まだ協議はこれからということでありまして、今お話があったとおりこの新駅につきましては、上伊那のほうから非常に要望が強いというのはそれはそのとおりでございますが、この新駅設置につきましては当然国県からの補助金も当然前提となってくると思っておりますが、地元負担も必要になるということで、「地元というのはどういうところか」ということでご質問かと思っております。

まあ私どもといたしましては、これは伊那谷自治体会議全体で当然とらえていく課題というふうにとらえておりますので、地元というのは伊那谷全体というとらえをしているところでございます。

ただ、まだどういう負担割合にするとか、そういったことにつきましてはこれからの検討ということになろうというふうに思っています。

(清水議長) 大島正光君。

(大島議員) ありがとうございます。

やっぱり新駅を進めるにあたっては、やっぱり財政負担が大事だと思いますので、こちらのほうも並行して進めていったらというふうに要望をさせていただきます。お願いします。

(清水議長) はい、要望ということであります。

そのほかにご覧いませんか。よろしいでしょうか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました「リニア中央新幹線について」は、聞き置くことといたします。

---

## (2) 産業振興と人材育成の拠点整備事業について

(清水議長) 次に、「産業振興と人材育成の拠点整備事業について」を議題といたします。

理事者側の説明を求めます。

高田事務局長。

(高田事務局長) それでは資料ナンバー2をご覧くださいと思います。産業振興と人材育成の拠点整備状況の報告でございます。

大きくは3点でございますが、1点目、第Ⅱ期工事(公的試験場、ホール設置)につきましてでございます。

下の写真を見ていただきながらでございますが、工事内容といたしましては旧体育館棟の改修が主なものでございます。旧体育館棟は2層になっておりまして、1階部分を公的試験場、今の産業センターにあります工業技術センター、EMCセンターの機能を移転をするものの施設整備でございます。

それから、体育館棟の2階部分にホール、エントランスホール、それから控室等の整備をいたしております、500人収容のホールをいま整備中でございます。

それから、体育館に上りますエレベーター等も含めていま整備をいたしております、契約になりました事業費はご覧のとおりでございます。

それから、今後EMCの移設等がございまして、工期にありますように平成30年の2月末までには、この2期工事は完了するというそういう状況でございます。

写真でございますが、上の2つは増築をしておりますEMCの電波暗室部分の状況、それからエレベーター棟、内部工事等の工事の状況でございます。

それでは裏面をご覧をいただきたいと思います。2番として第3期工事でございます。

3期工事は、概要といたしますと、旧機械科棟、体育館棟の南側にある棟でございますが、その機械科棟の改修が主な工事でございます。産業センターの本体全体が入る部分でございます。

1階部分に売店や厨房・カフェも含めて展示コーナー等が整備をいたします。それから2階に会議室、3階、4階、インキュベートあるいは企業の相談室、それから国や県のサテライト等が入ってくるということでございます。

それから、「テラス棟、メインエントランスの増築」というふうに書いてありますが、I期工事で整備が終わっております電気科棟、それから、いま第III期で進んでおります機械科棟をつなぐ形で校庭側からメインエントランスをつくる予定でございます。その部分は新たに増築という形になっております。そこには自由空間等も含めて全体のメインエントランス、あるいはテラスができるというそういう想定になっております。

2番、事業費であります。現在の契約額でございます。

工期は一応今年度の契約ということで平成30年3月31日になっておりますが、全体の工事の進捗を見ますと平成30年の秋ごろまでかなあというふうに考えております。それから、今の実際の状況は、足場等の組み立てが始まったという状況でございます。

それから3番目ですが、「地方創生関連の事業推進の効果検証」ということで、今までI期・II期工事につきましては、地方創生交付金の交付を受けた事業を進めておりますが、その関係で年度の効果検証ということでございます。平成27年度の補正予算で地方創生加速化交付金を受けておりますので、その部分につきましては効果検証ということでございます。

(1)番はどのような実績であったかというようなことで、KPIの状況を整理をさせていただきます。それから、(2)番は有識者の方々の意見の聴取ということでございまして、一番下の方向性にありますように地方創生推進交付金による整備、I期が完了して、今II期工事、それからIII期工事は起債事業でございますが並行して進んでおります。

そうした整備をだんだんに終了していきますけれども、今後、試験の機器整備や人材育成、あるいは産業センターの移転等が進んでまいりますので、しっかりと取り組んでいくということで整理をし、さらに整備を進めてまいりたいと思っております。

それから、これからは、そこに産業センターがどのようにそこで実績をつくって機能を果たしていくかということ、それからもう1つは人材育成でしっかりと信州大学の講座の実績を残していくということが大事でございますので、そうした点に取り組んでま

いりたいと思っております。よろしく願いをいたします。

以上でございます。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。よろしいですか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました「産業振興と人材育成の拠点整備事業について」は聞き置くことといたします。

---

### (3) 稲葉クリーンセンター整備事業について

(清水議長) 次に、「稲葉クリーンセンター整備事業について」を議題といたします。

理事者側の説明を求めます。

田見飯田環境センター事務長。

(田見飯田環境センター事務長) では、環境センターからお願いいたします。

本日、お配りをさせていただきました会議資料のナンバー3をお御覧をいただきたいと思えます。先週末に引渡性能試験の結果が出てまいりましたので、当日配布とさせていただきますのでよろしく願いをいたします。

それでは資料ナンバーの3-1をご覧をいただきたいと思えます。稲葉クリーンセンター整備事業についてでございます。

はじめに、稲葉クリーンセンター連絡協議会でございますが、11月9日に稲葉クリーンセンター連絡協議会発足総会を開催いたしまして、規約の承認、役員を選出など行っていただきまして、正式に稲葉クリーンセンター連絡協議会が設立されたということでございます。

役員でございますが、会長に広域連合長、副会長は関係地区の会長様でございます。

連絡協議会の組織でございますが、広域連合から正副連合長、専門部会の代表、議長、副議長、あと地元の地区からは、下久堅、上久堅、龍江地区からの選出委員、あと地元の市会議員の皆様により構成をされております。

協議会の開催でございますけれども、年1回の開催とさせていただきます。毎年度おおむね2月ころに開催をさせていただきたいと考えております。29年度につきましては、12月から3月の稼働ということでございまして、来年の4月から5月にまず第1回目の連絡協議会を開催させていただきたいというふうに考えております。

今後の予定でございますが、12月1日に稲葉クリーンセンターの竣工式ということ

でお世話様になります。よろしくお願いをいたします。2月6日でございますが、桐林連絡協議会を開催させていただきまして、これにつきましては桐林クリーンセンターの最後の連絡協議会でございます。

それでは1枚おめくりいただきまして、資料ナンバー3-2をご覧いただきたいと思っております。稲葉クリーンセンター試運転の状況についてでございます。

9月上旬より本格的な試運転を行っておりまして、これまでごみの搬入状況、処理状況、プラント機器の作動状況、灰処理等につきましては、特段問題なく安定稼働をしている状況でございます。

まず予備性能試験の結果でございますが、実施機関が9月24日～26日に行っておりまして、試験の結果でございますが、施設の焼却性能に問題がないことを確認しております。

試験項目につきましては、お御覧の排ガス、騒音、振動、悪臭、あと灰の関係でございます。ただ1点、騒音でございますけれども、この騒音の夕方18時～21時でございますが、協定値が50のところを61ということで備考にコメント書いてありますが、当日ちょっと虫の音がありまして、機械、施設そのものの騒音を測定できなかったということで引渡性能試験時に検証するというところでございます。その他の協定値につきましてはすべて協定値未満という形でございます。

裏面をお御覧をいただきたいと思っております。引渡性能試験の結果でございます。

試験項目につきましては、予備性能試験と同じでございます。実施期間が10月25日から10月27日でございます。

試験結果でございますが、施設の性能試験に問題がないことを確認しております。お御覧のように試験項目すべての項目につきまして協定値未満でございます。

これによりまして、稲葉クリーンセンターにつきましては、11月中旬に建屋、プラント機器、その他施設等の出来形検査とあと書類検査を行っておりまして、設計どおりの出来形を確認しております。

また、ただいま説明いたしました引渡性能試験におきましても、すべての協定値、要求性能を満たしておりまして、11月30日に引き渡しを受けまして12月1日より正式稼働に移行してまいりますのでよろしくお願いをいたします。

続きまして3ページをご覧いただきたいと思っております。

これにつきましては試運転期間中のごみの搬入量等の状況でございます。

まず一番上段でございますが、①稲葉クリーンセンターでございますが9月～11月、

11月は17日までのデータでございますが、委託収集、直接搬入、あとパッカー車、トラック等の台数を記載してございます。このような状況でございました。

②につきましては、桐林クリーンセンターの昨年の同時期のデータでございます。これを比較したものが③・④になりまして、③につきましては、委託収集、直接搬入、あと台数、ご覧のような増加傾向でございます。

あと④がその割合でございまして、一番右側の欄でございますけれども、搬入量につきましては19%ほどの増、台数につきましては14%ほどの増ということでございます。

搬入量、車両の増加につきましては、新たなごみの収集体系によりまして、プラごみ、ゴム、革などのごみの増加によるものと考えております。まあこの増加の量につきましてはおおむね当初予定の範囲内でございます。

いずれにしましても、搬入開始からまだ3ヶ月ということでございますので、今後、搬入量、車両等の状況を注視してまいりたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いをいたします。

以上でございます。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

吉川秋利君。

(吉川議員) 30番、吉川です。

性能とか大変立派なものが出て、また12月1日には竣工式に呼ばれて行くことになるんですが、性能的なことではなくて、この間、車に乗っていらっしゃったら竜東にはっきりくっきりと見えるということで、考えてみるとはっきりくっきり見えるのは良いんだけど、環境として考えた場合、周りから見ると非常にはっきり見えすぎるのが良いのかどうなのか、もう少し迷彩色にしたほうが良いんだろうかどうなのか、そこら辺を役員会の中で、今後、機会があったらお話をさせていただけたらなあというふうに思いますので、ちょっとそんなことを感じましたのでお願いします。

(清水議長) ただいまのは要望ということでよろしいですか。

(吉川議員) はい。

(清水議長) 他に。他にございませんか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました「稲葉クリーンセンター整備事業について」は

聞き置くことといたします。

---

#### (4) 災害対応型自動販売機での飲料の提供に関する合意書締結について

(清水議長) 次に、「災害対応型自動販売機での飲料の提供に関する合意書締結について」を議題といたします。

理事者側の説明を求めます。

塚平事務局次長。

(塚平事務局次長) 災害対応型自動販売機での飲料の提供に関する合意書の締結について、ご説明を申し上げます。

資料ナンバーの4をご覧くださいと思います。

これにつきましては、12月1日に正式稼働いたします稲葉クリーンセンターへ設置をする予定としております飲料の自動販売機の設置業者であります「北陸コカ・コーラボトリング株式会社」様より、災害対応時の飲料提供について申し入れを受け、その合意書を締結をするものでございます。

内容につきましてはこの合意書をご覧くださいと思いますが、第1条第2項及び第2条に記載をされておるところでございますが、

「当圏域内で震度5弱以上の地震、または同等以上の被害が想定をされる災害が発生、または発生の恐れがある場合などに設置をされた自動販売機内の製品が無償で提供をされる」という内容となっているところでございます。

今回の合意書を締結することによりまして、今後広域連合管内におけます施設に「北陸コカ・コーラボトリング株式会社」様より自動販売機が設置される場合につきましては、この合意に基づいて災害対応型自動販売機が設置をされるとそういうものでございます。

なお、12月20日に合意書締結式を実施する予定としておりまして、現在、最終調整を行っているところでございます。よろしく願いをいたします。

以上です。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

(清水議長) なければ、説明がございました「災害対応型自動販売機での飲料の提供に関する合意締結について」は聞き置くことといたします。

## (5) 南信運転免許センターの設置に向けた要望活動の実施について

(清水議長) 次に、「南信運転免許センターの設置に向けた要望活動の実施について」を議題といたします。

理事者側の説明を求めます。

高田事務局長。

(高田事務局長) それでは資料ナンバー5をご覧くださいというふうに思います。

本年3月に南信運転免許センターの設置に向けて県警本部長にあてて、広域連合議会・広域連合合同で要望活動を実施したわけですが、県警運転免許本部からはその後の状況とすると「なかなか人の手配が難しい」というようなことで、「検討を進めているけれども」というような状況でございます。

一方、先ほども説明をいたしました、南信州・飯田産業センターの移転時期がおおよそ見えてきたという状況でございます。そうした中でございますので、今この予算編成の時期であるこの時期に改めて要望活動を実施をしたいということでございます。

まず1番の日時及び要望先でございますが、12月8日、これ県議会の閉会日でございますが、この日の夕方4時20分から県警本部長、4時40分から県知事ということで要望活動を実施をしたいというふうに思っています。

それから要望書の内容であります、県警本部長あて、あるいは県知事あてともに、1つ目は旧飯田工業高校の施設整備が順調に進んで、30年の1月には南信州・飯田産業センターが新施設へ移転ができるのではないかと、ですので30年末には遊休となるということでございますので、南信運転免許センターの調査費をぜひ30年の予算に計上いただいて、前向きに検討いただきたいということを訴えたいということでございます。

それから県知事に向けましては、そうした調査費が予算に計上されるようにぜひご配慮いただきたいということで、県警本部長あて、県知事あてに要望書を提出をしたいというふうに思っております。

で、去る広域連合会議のほうでは、11月の広域連合で確認をいただきました。本日広域連合議会もぜひ一緒に連名で要望活動をお願いをしたいということで提案をさせていただきますのでよろしくお願いをいたします。

以上でございます。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

熊谷英俊君。

(熊谷(英)議員) 1番、熊谷です。お世話になります。

以前、10月ですが、私ども大鹿村と、あと松川町さん、それから上伊那郡の飯島町、中川村の4町村で組織しております中部伊那の議会の協議会があるんですが、それで県のほうに要望活動に10月にまいりまして、この運転免許センター設置に向けての要望というものも同時にお出しして県警本部の説明をいただいたわけなんです。

その折りに「人員配置難しい」という説明はもちろんあったわけですが、それ以外に「駐車場が足りない」と、「敷地の面積が足りない、数十台分ほど足りない」というような説明があったものですから、そのことについては全く伺っておらなかったものから、その後、事務局を通じて広域のほうにも確認をさせていただいたんですが、「広域のほうとしては、そちらのほうは問題ないということで話は進んでいる」という説明をいただいておりますが、ちょっと再度その辺りを確認をさせていただきたいと思えます。駐車場といいますか、敷地の面積が十分に足りておるのかどうか、実現性がちゃんと確保されておるのかどうかというところをお伺いしたいと思えます。

(清水議長) 高田事務局長。

(高田事務局長) 大鹿村の総務課長さんから以前お話をいただきましたが、今までの経過を申し上げますと、28年度にも運転免許本部のほうから実際に産業センターの状況、今の現状を見ていただいたりしております、事務的には見ていただいております、今の駐車台数では少し足りないということは確かにありますけれども、工業技術センター、EMCセンター等すべて移転をいたしますので、あそこの敷地の中でそれは確保できるということで確認をいただいておりますので、駐車場が足りないという状況は決してないというふうに思っております。そこは運転免許本部のほうとは確認ができていうふうにお考えをいただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

(清水議長) その他ございませんか。よろしいですか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました「南信運転免許センターの設置に向けた要望活動の実施について」は確認したことといたします。

---

## (6) 広域消防から

(清水議長) 次に、「飯田広域消防から」を議題といたします。

理事者側の説明を求めます。

関島飯田広域消防長。

(関島消防長) それでは広域消防から報告をさせていただきます。

お配りいたしましたお手元の火災発生状況の資料をご覧いただきたいと存じます。

今年の火災・救急・救助件数の状況でございますけれども、11月23日現在で火災は65件、昨年同日比7件の減となっております。

火災種別では、建物火災が27件で42%という状況となっております。たき火など屋外の火の取り扱いが起因とする火災は27件という状況でございます。

これから年末を迎えるにあたりまして、引き続き消防団など関係機関の皆様のご理解ご協力いただきながら火災予防に努めてまいりたいと思っております。

裏面をご覧いただきたいと存じます。

救急出動件数につきましては6,300件で58件の減となっております。出動種別では急病が最も多く4,109件で65%を占めております。年齢別では65歳以上の方が4,200件ということで67%という状況でございます。傷病程度では、入院を必要としない軽傷の方の割合が41%という状況でございます。今後、救急車の適正利用、予防救急の普及に努めてまいりたいと思っております。

救助件数につきましては83件ということで20件の減となっております。出動種別では、交通事故による出動が最も多い状況でございます。

以上が基幹業務であります、火災・救急・救助件数につきましての報告とさせていただきます。

また、お手元に本年度実施いたしました写生大会、募集いたしました防火標語の入選作品により作成いたしました来年の防火ポスターをお配りさせていただいております。ぜひご活用いただきますようお願いいたします。

広域消防からは以上でございます。よろしく願いいたします。

(清水議長) 説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。よろしいですか。

(発言者なし)

(清水議長) なければ、説明がございました「飯田広域消防から」は聞き置くことといたします。

予定の案件はすべて終了いたしました。

その他、何かございませんか。

加藤書記長。

(加藤書記長) 本日お手元のほうに、先月10月26日・27日に開催し実施いたしました南信州広域連合協議会議員研修管外視察の報告書につきまして、会計報告とともに合わせたものを2枚資料をお配りしてございますので、また後ほどご覧いただきたいと思えます。以上でございます。

(清水議長) その他、理事者側は何かありませんか。

ないようでございますので、以上をもちまして全員協議会を閉会といたします。

(大島議員) 議長。

(清水議長) 大島正光君。

(大島議員) 17番、大島でございます。その他でよろしいのでしょうか。

(清水議長) はい、結構です。

(大島議員) 今、事務局からお話がありましたけど、先月、広域連合協議会のほうで津市のほうのスポーツセンターを視察をさせていただきました。すばらしい全国規模のできる体育会ができるような、また国民体育大会ができるようなそんな施設でありました。

広域連合もアリーナとコンベンションセンターを早期に実現をしたいということで、県のほうへ3月に要望等を出しております。

10年後のリニアの開通、それから10年後に国体が、長野県国体が内定したというようなことをお聞きしておりますが、その10年後のリニアの開通、それから国体の内定までにそのアリーナ、コンベンションセンターを完成をするということであれば、もうちょっとスピード感を持って県のほうへ要望、あるいは国のほうへ補助金の要望をしていかないと間に合わないのではないかなあという気がしております。

先日も、新聞に佐久のほうで「県の武道館をこの12月補正で約60億補正が付いた」というような新聞が載っております。10年後のリニアの開通、あるいは国体に間に合わせるのであれば、もうちょっと場所の選定だとか、どういう規模のものをつくるんだとか、もうちょっと早めにスピード感を持ってやらないと間に合わないのではないかという気がしておりますがいかがでしょうか。

(清水議長) 牧野広域連合長。

(牧野広域連合長) 今お話がありましたように、このコンベンションアリーナにつきましては、広域連合として県に対して「一緒に検討してほしい」という要望を3月に上げさせていただいており、その後、今こういった議員の皆様方のご視察も含めて、その内容について鋭意検討させていただいております。

まあ10年後のリニア開通、あるいはその国体開催に向けてということで議員のご提言もそのとおりだというふうに思っております。もちろん課題は多いわけではありますが、いま鋭意検討させていただいているということを申し上げて、私からの答弁とさせていただきます。

(清水議長) よろしいですか。

そのほかにございませんか、その他。よろしいですか。

(発言者なし)

## 5. 閉 会

---

(清水議長) それではないようでございますので、以上をもちまして全員協議会を閉会いたします。

ご苦勞様でした。

---

閉 会 午前11時43分